



第 4 次 大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画

令和7年度～令和11年度



令和 7 年 4 月
大 仙 市 教 育 委 員 会

目次

○第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 国・県の動向	2
3 計画の位置付け	2
4 計画の期間	2

○第2章 子ども読書活動の成果と課題

1 家庭・地域での本との出会いづくり	3
2 認定こども園・保育所等での本の楽しみづくり	6
3 学校・家庭での読書習慣づくり	8
4 図書館がつなぐ読書活動	10

○第3章 計画の基本目標と内容

計画の基本目標と内容	13
------------	----

○第4章 子ども読書活動推進のための取組

基本目標1 家庭での本との出会いづくり	14
基本目標2 認定こども園・保育所等及び学校での読書習慣作り	16
基本目標3 図書館がつなぐ読書活動	18

○第5章 令和6年度認定こども園・保育所等及び小・中学校の図書管理状況調査結果

1 認定こども園・保育所等調査結果	24
2 小・中学校調査結果	28

○第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画策定経過

○第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画策定委員名簿

第1章

計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

大仙市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「大仙市総合計画」との整合性を図りながら、平成22年4月に「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」（平成22年度～平成26年度）、平成27年4月に「第2次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」（平成27年度～平成31年度）、令和2年4月に「第3次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」（令和2年度～令和6年度）を策定しました。

本市では、「大仙市総合計画」において「人が生き人が集う夢のある田園交流都市～ところをつなぎ希望にみちた未来の創造へ～」という将来都市像を描いております。その目標とする将来都市像実現のため5つの施策の柱の一つに、第4節「豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～」を設定し、「生涯学習の推進」を掲げております。その主な取り組みとして、子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身につけることを願い、子どもに関わる人や機関と連携しながら、読書推進事業を実施してきました。

子どもの読書活動の推進のためには、家庭、地域、学校等が協力し連携を深め、様々な読書機会の提供や環境整備を社会全体で取り組んでいく必要があります。

第4次計画にあたる本計画では、令和4年（2022）年に本市がSDGs未来都市に選定されたことを受け、SDGsに寄与する取組の推進を図りながら、子どもの読書活動を取り巻く社会状況の変化やこれまでの取組の成果や課題を検証し、社会全体で大仙市の子どもの読書活動の一層の推進を図ることを目的として策定いたします。

2 国・県の動向

国では、急激に変化する時代において、必要とされる資質・能力を育む上で、「読解力や想像力、思考力、表現力を養う読書活動の推進は不可欠であり、全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、社会全体で子どもの読書活動を推進する。」との基本的方針に基づき、令和5年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第5次基本計画)を策定しています。

また、秋田県では、家庭、学校、地域・職場における読書活動の推進と、関係機関等との協働による読書活動の推進を施策の柱とした「第3次秋田県読書活動推進基本計画」を令和3年に策定し、各世代に応じた読書活動の推進を行っています。

3 計画の位置付け

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律、第9条第2項に規定する、市町村子ども読書活動推進計画」として位置づけられ、「第3次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」を引き継ぎ、第4次計画として策定します。

また、本市教育の基本構想でもあります「大仙市教育大綱」を上位計画とし、整合性を保ちながら、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施します。

4 計画の期間

令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

なお、本計画に基づく施策の実施に関しては、必要に応じ、見直しを行うものとします。

第2章

子ども読書活動の成果と課題

令和2年4月に策定した第3次計画においては、4つの基本目標を掲げ、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

1 家庭・地域での本との出会いづくり

第3次計画の取組内容

○ブックスタート事業の推進

子どもが絵本と出会うきっかけづくりとして、健康増進センターで実施している4か月児健診の受診者を対象として、「ブックスタート事業」を実施しました。絵本や市立図書館利用カード申込書などが入った「ブックスタートパック」の配付や読み聞かせを通じて、乳児の絵本との出会いづくりを支援しました。ブックスタートに関するアンケート(P4)からは、事業の継続を望む好意的な意見が寄せられています。

○地域力を活かした読書活動の推進

11月第1木曜日の「だいせん読書の日」を中心に、各地域図書館で趣向を凝らしたイベントを開催し、読書推進の啓発に努めました。また、各地域での「おはなし会」を通じ、読み聞かせの楽しさや絵本に親しむ環境づくりを行いました。

○子育てにかかわる人への啓発

図書館内に妊娠・出産・子育てなどに関連した本を一つの書棚に集めて設置して、これから親になる人や子育て世帯に向けた情報の提供に努めました。また、各地域図書館で開催される「おはなし会」を通じ、親子で絵本に親しむ環境づくりを進めました。

○放課後児童クラブ等への支援

定期的な団体貸出を行い、子どもたちが学校以外の身近な場所で、本を手にとることができる機会の提供に努めました。

第3次計画の成果

●ブックスタート事業

年度	対象者数(人)	当該年度配付者数(人)
R2	385	159
R3	387	185
R4	367	367
R5	305	305

※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため、4か月児健診が個別健診となったことにより、図書館窓口での配付とした。令和4年度に7か月児、1歳6か月児健診の再開にあわせて、未配付の方へ配付した。

●令和6年 ブックスタートに関するアンケート(自由記述欄より抜粋)

- ・本をいただいてから今まで何十回と読みました！本を読んで欲しくて「もう一回！」というサインを覚えて指で教えてくれます。
- ・4か月児健診でもらった2冊の本は1歳半になった今も読んでいます。
- ・小さな図書館ながら、こどもが喜ぶ本が充実していてとても助かっています。
- ・「ととけっこうよがあげた」は大変気に入って、朝に「ととけっこう」と声をかけると喜んで起きるようになりました。

●「だいせん読書の日」関連イベント開催期間来館者数

年度	イベント期間来館者数(人)
R2	6,507
R3	6,621
R4	7,248
R5	11,626

●おはなし会開催回数

年度	開催回数(回)
R2	46
R3	61
R4	79
R5	89

●放課後児童クラブ・児童館への団体貸出冊数

年度	貸出冊数(冊)
R2	1,567
R3	3,084
R4	3,484
R5	2,976

今後の課題

子どもが読書習慣を身に付けるためには、乳幼児期から本に接することが大切です。今後も「ブックスタート事業」や「だいせん読書の日」などの機会を捉えて、家庭や地域での本との出会いづくりを推進していく必要があります。



ちびっこルーム内の
子育て家族を応援する
「にこにこ子育てコーナー」

大型絵本の
読み聞かせ風景



2 認定こども園・保育所等での本の楽しみづくり

第3次計画の取組内容

○認定こども園・保育所等への読書活動支援

子どもたちが一日の多くの時間を過ごす場所で、たくさんの絵本と出会い、興味や関心を抱いた絵本などを手に取ることができるよう、定期的な団体貸出を行いました。

○保護者への読書の啓発

年齢に合わせて図書館職員が選書した「親子で読みたいブックリスト」を、市のホームページへ掲載し、家庭内で親子が本にふれあう習慣づくりの支援を行いました。

第3次計画の成果

●児童書貸出冊数 (単位:冊)

年度	貸出冊数
R2	40,064
R3	55,487
R4	54,421
R5	55,201

●認定こども園・保育所等への団体貸出冊数 (単位:冊)

年度	貸出冊数
R2	2,153
R3	3,072
R4	3,573
R5	5,292

今後の課題

本の団体貸出は、図書館側で選書して貸出することが主となっており、今後は借りる施設側からの要望を取り入れた選書も行っていく必要があります。

「親子で読みたいブックリスト」で紹介された絵本のほか、「読み聞かせ」の意義などについて周知方法を検討していく必要があります。

「親子で読みたいブックリスト
2024」の表紙



図書館の職員が選びました。
対象の学年はおおよその目安です。

市内検索



大仙市立図書館

3 学校・家庭での読書習慣づくり

第3次計画の取組内容

○読書活動の充実

市内の小・中学校では「大仙っ子読書の日(11月第1木曜日)」の取組として、「私のおすすめ本」など本の紹介や読みきかせ、読書集会などを開催し、学校での読書推進活動を行っています。

学校図書館との連携では、各地域図書館の職員が希望のある学校を定期的に訪問して、学校図書館の読書環境整備支援のほか、調べ学習などの教科に関連した資料の要望に応えられるよう、資料の充実を図ってきました。

○保護者に対する啓発活動の推進

学校や家庭での読書の際に、読む本を選べない場合やいつもとは違った分野の本に興味を持ってもらうため、市内小・中学校へ「親子で読みたいブックリスト」を送付しました。

そのほか、市の広報や「FMはなび」での幼児・児童向けの図書紹介、各図書館での小・中学生向けの「図書館だより」発行などにより読書啓発を行いました。

第3次計画の成果

●学校図書館訪問回数

年度	学校図書館訪問回数(回)
R2	377
R3	286
R4	278
R5	292

今後の課題

市内小・中学校へのアンケート結果(第5章、P30～P31参照)では、学校の図書館整備業務を「負担に感じる」「大変負担に感じる」を合わせると全体の73%となっており、学校現場での負担感を感じさせる結果となりました。今後も、要望のある学校図書館へ訪問を行い、読書活動支援を行っていくほか、学校図書館司書配置についての働きかけや、学校図書館と市立図書館のシステム連携推進を図っていく必要があります。

児童生徒やその保護者に対する読書啓発については、各地域図書館で紙媒体による周知のほか、市のホームページやSNSなど対象世代の利用が多い媒体を活用した情報提供を行っていく必要があります。

「だいせん日和」2024年10月号
新刊案内、イベントの開催案内

[illegible]

11月の第1 木曜日は だいせん読書の日

市では、11月の第1 木曜日を「だいせん読書の日」とし、家族や地域、社会が一体となった読書活動を推進しています。「だいせん読書の日」に合わせて、本と出合い、触れ合えるイベントを開催します。

問い合わせ 大曲図書館（毎週水曜休館） ☎ 0187-62-1012
（午前9時～午後7時）※土・日、祝日は翌日より開場で

本をあげたい人と**ほしい人**をつなぎます

ONE BOX LIBRARY（大曲図書館）

○本をあげたい方
10月11日（金）から24日（木）までに本を提供ください。

○本がほしい方（なるべく先着先勝）
11月2日（土）から15日（金）までお越しください。

たまにはホッコリしませんか
大人も楽しむおはなしの会

対象 | 年齢問わず、どなたでも参加可
11月7日（木）午後1時30分～2時15分
会場 | 大曲図書館

世界に一つ、自分だけのオリジナル万華鏡
万華鏡をつくろう！

対象 | 小学生以上
日時 | 11月2日（土）午前10時～午後2時
会場 | 大曲図書館
定員 | 20人

各地域の図書館でも企画・開催

「だいせん読書の日」関連イベント

協和 10月12日（土）から11月12日（火）まで
本の収穫祭

中仙 10月23日（水）から11月8日（金）まで
展示・名作発表「日本と世界の架になる文字画」

南外 10月25日（金）から11月10日（日）まで
本を借りて「所ちゃんしおり」を作ろう！

神岡 10月26日（土）から11月10日（日）まで
古本バザール

西仙北 10月27日（日）午前9時～午後4時
としよかんまつり

太田 11月1日（金）から9日（土）まで
雑誌リサイクル

仙北 11月3日（日）から10日（日）まで
展示「探検えみこさん作品原画展」

このほか、市内の各図書館で毎月「おはなし会」などのイベントが行われています。ぜひお越しください。（関連記事24ページ）

**中学生・高校生
ビブリオバトル
大曲大会**

中学生と高校生がお互いの本の魅力を紹介し、全員で一番読みたくなった本を投票で決めるゲームです。
どなたでもご参加になれますので、ぜひお越しください。
日時 | 10月27日（日）午前10時～ 会場 | 大曲交流センター
問い合わせ 原城良子館教育事務所 ☎ 0182-32-1101

fun!

4 図書館がつなぐ読書活動

第3次計画の取組内容

○子どもの図書館利用の促進

市内小学生の図書館見学や中・高生のインターンシップを積極的に受け入れ、図書館の役割や業務を知ってもらい、図書館を身近に感じてもらう機会づくりに努めました。

また、読書に親しむ習慣づくりや読書意欲を高めるため、令和元年度から新規取組として「子ども読書通帳」事業をスタートしました。毎年度4月に新小学1年生に「まるびちゃん読書通帳」を配付し、学校や家庭、市立図書館などの様々な場所で読んだ本を記入し、読書の励みにしてもらいました。

さらに、子どもたちの夏休み期間に、主に小学生を対象として「押し本」を絵やポップなどで紹介していただくコンテストを実施し多くの方にご応募いただきました。

○市民の読書活動の推進

各地域図書館の「図書館だより」や「FMはなび」を活用し、新刊図書や図書館イベント案内など図書館情報の提供を行いました。

○図書館ボランティアや読書普及活動団体等の支援

毎月の「おはなし会」など活動場所の提供や資料の貸出、研修会の開催情報などの提供を行いました。

第3次計画の成果

●子ども読書通帳事業年度別表彰者数

(単位:人)

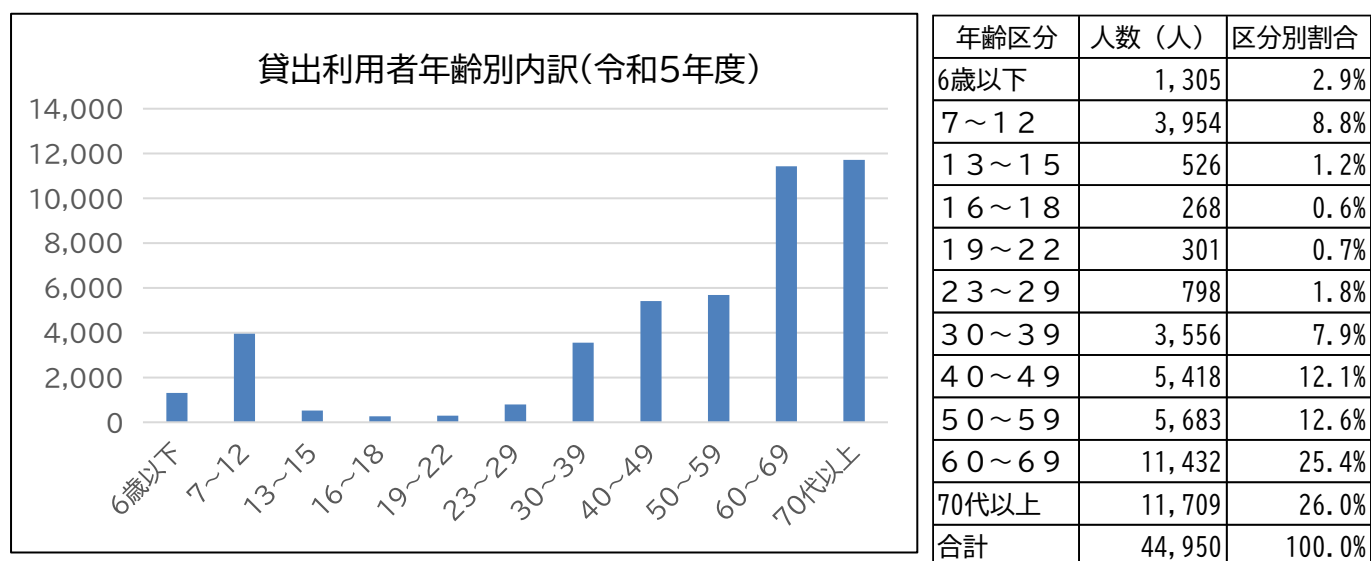
年度	50冊	100冊	200冊	300冊	400冊	500冊	1000冊	計
R2	258	158	76	33	20	12	2	559
R3	238	179	100	52	26	20	5	620
R4	179	135	88	66	42	17	2	529
R5	153	128	83	49	40	39	1	493

●推し本コンテスト等応募者数

(単位:点)

年度		小学生応募作品数
R4	わたしのおすすめ本	441
R5	わたしの推し本POPコンテスト	116
R6	わたしの推し本コンテスト	159

●貸出利用者年齢別内訳(令和5年度) (単位:人)



今後の課題

「子ども読書通帳」は、低学年から中学年、高学年と学年が進むにつれ、表彰者数が減る傾向がみられます。子どもたちが読書への興味を失わないように、魅力ある企画や積極的なアプローチ方法を考えていく必要があります。

子どもたちの市立図書館の利用は、小・中・高と年代が上がるにつれ減少しております(貸出利用者年齢別内訳(令和5年度)参照)。来館者の目に留まりやすい場所への図書紹介コーナーの設置や展示方法などの工夫により、利用促進に努めていく必要があります。

市民の読書活動は、図書館利用の少ない年代(若年層)の利用促進を図るため、SNSを活用した図書紹介・イベント紹介など、年代に合わせた周知の仕方を行う必要があります。

☆第3次計画 各取組における振り返り表

○：実施した △：概ね実施した

1 家庭・地域での本との出会いづくり		①ブックスタート事業の推進 ③子育てにかかわる人への啓発					②地域力を生かした読書活動の推進 ④放課後児童クラブ等への支援		総 評
	具体的取組	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
出 会 い	・全ての対象乳児へブックスタート事業の実施	△	○	○	○	○	ブックスタート事業は対象となる4か月児健診受診者全員に手渡しすることができた。その後のよみきかせも参加者が徐々に増えている。		
	・「だいせん読書の日」の事業に伴う読書活動事業の開催	○	○	○	○	○			
	・おはなし会など幼児期から本に親しむ環境づくりの支援	○	△	○	○	○			
	・放課後児童クラブなどへの団体貸出	○	○	○	○	○			

2 認定こども園・保育所等での本の楽しみづくり		①認定こども園・保育所等への読書活動支援 ②保護者への読書の啓発					総 評
	具体的取組	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	実施出来た。団体貸出は対象団体へ春に通知を郵送し周知を図る事により貸出希望が増えている。
楽 し み	・定期的な団体貸出による読書活動の支援	○	○	○	○	○	
	・親子で本にふれあえるよう、おすすめ本の紹介情報を発信	○	○	○	○	○	

3 学校・家庭での読書習慣づくり		①読書活動の充実 ②保護者に対する啓発活動の推進					総 評
	具体的取組	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	「だいせん読書の日」はイベントなども趣向を凝らし開催したが、月1回の発信は実施できなかった。
習 慣	・団体貸出や調べ学習資料の提供	○	○	○	○	○	
	・親子で読みたいブックリストを提供、貸出の利用率向上	○	○	○	○	○	
	・「だいせん読書の日」の事業を拡大し、毎月1回「読書の日」として読書の必要性を市民へ発信	○	△	△	△	△	

4 図書館がつなぐ読書活動		①子どもの図書館利用の促進 ③図書館ボランティアや読書普及活動団体等の支援と養成					総 評
	具体的取組	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	1日30分以上読書する子どもは小・中ともに30%台でありまだ目標には届いていない。不読率は中学校になると上昇してしまう。
つ な ぐ	・子ども読書通帳を配付し、学校以外で1日当たり30分以上読書する児童生徒の割合が50%以上になることを目指す	データ無	△	△	△	—	
	・子ども読書通帳を配付し、学校以外で全く本を読まない児童生徒の割合を減少させ、不読率0%を目指す	データ無	△	△	△	—	実施出来た。
	・市民の読書意欲を促進するため、市広報・FMIはなびを活用し図書館情報の提供	○	○	○	○	○	
	・生涯にわたる読書を支援するため、一般向けの読書通帳を市のホームページで公開	○	○	○	○	○	
	・図書館ボランティア等の活動場所を提供、研修の機会等を支援	○	○	○	○	○	

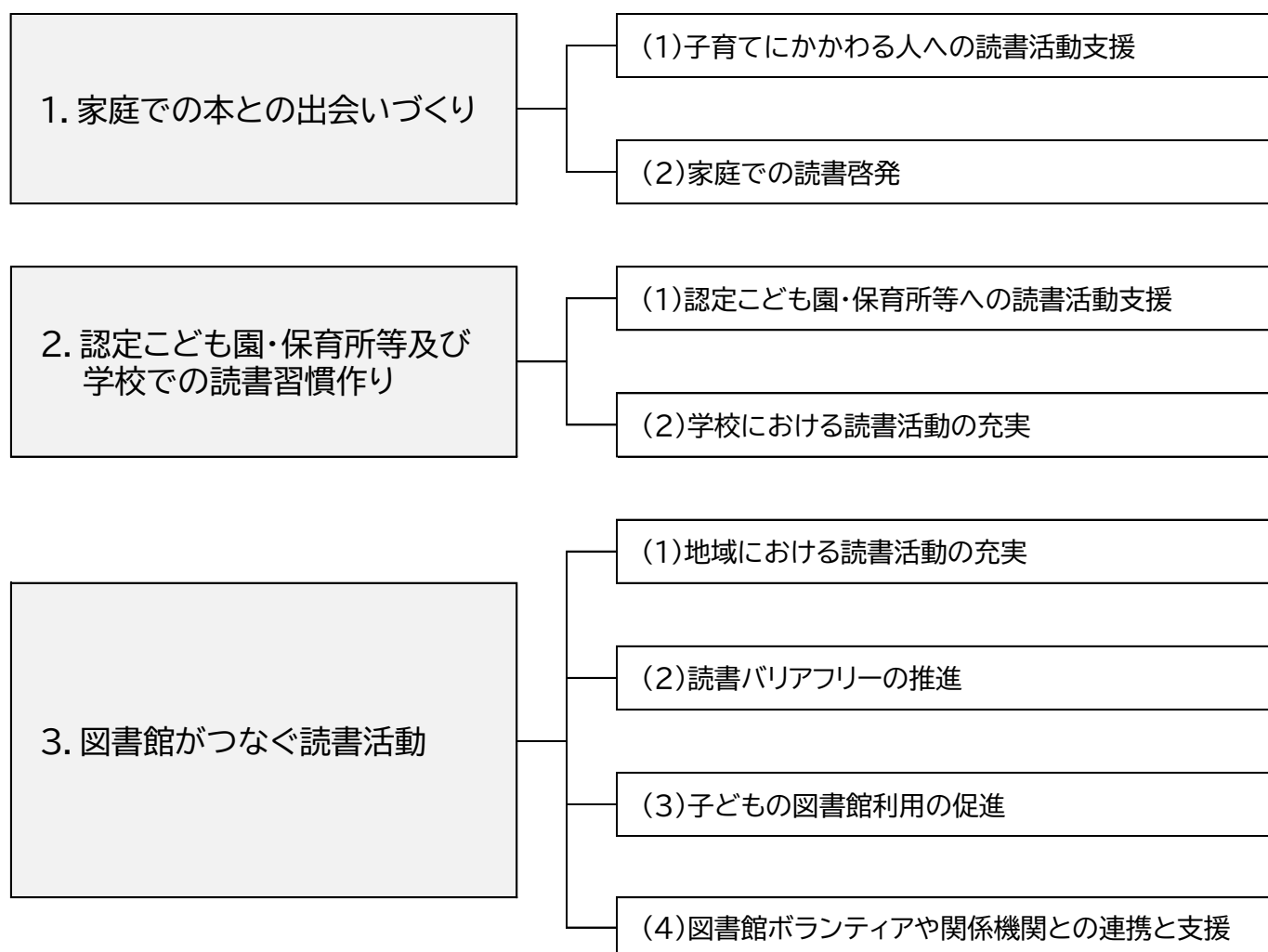
第3章

計画の基本目標と内容

第4次計画では、第3次計画から基本目標及び内容を再編成し、子どもの読書活動の推進に取り組んでいきます。

【 基 本 目 標 】

【 内 容 】



第4章

子ども読書活動推進のための取組

【基本目標1】家庭での本との出会いづくり

子どもと保護者が家庭内での読書の楽しさ、大切さを知るきっかけづくりの機会を提供し、各世代に渡っておすすめ図書などの読書啓発情報を発信し続けます。

(1) 子育てにかかわる人への読書活動支援

生涯にわたる読書習慣や関心を高めるには、特に乳幼児期から小学生の時期に本にふれ、親しみ、読書の楽しさを体験することが重要です。

そのためには保護者も読書に興味を持ち、子どもと一緒に本に親しむことが大切です。ブックスタート事業やおはなし会などの絵本の読みきかせなど、子どもの発達段階に応じた本とのふれあいの機会を提供し、家庭内で保護者と子どもと一緒に本に親しむことができる環境作りを支援します。

継続していく取組

- ・ブックスタート事業の実施
- ・妊娠・出産・子育てに関する本を集めたコーナーの充実
- ・各地域図書館でのおはなし会の開催

(2) 家庭での読書啓発

乳幼児から中学生までの継続した読書活動や本との出会いを促進するため、子ども、保護者双方に、発達段階に応じ、おすすめ図書や、「読みきかせ」の大切さなどの情報を発信していきます。

その方法として現在実施している市の広報や「FMはなび」などを活用した図書紹介のほか、対象世代の利用が多いSNS等を活用するなど、多様な手法で読書啓発を行っていきます。

新規・強化取組

新規

- ①SNS等を活用した子ども、保護者向けの情報発信。
(ブックスタート、子育てコーナー、おはなし会、おすすめ図書など)

強化取組

- ①認定こども園・保育所等と小・中学校、それぞれの対象に向けて「親子で読みたいブックリスト」や利用の多い人気の絵本、図書の紹介等を行います。
(市のホームページで公開し、園や学校に配付)。また、認定こども園・保育所等向けのブックリストには読みきかせのポイントや効果についても掲載し、読み聞かせの普及啓発を図る。
- ②市内全図書館で年2回以上、小・中学生向けの図書館情報を発信する。

継続していく取組

- ・市の広報や「FMIはなび」などを活用した幼児・児童・生徒向けの図書紹介。

基本目標1の指標・数値目標

項 目	R5年度実績	R10年度目標値
0～18歳以下の利用者カード登録率	37%	50%
認定こども園・保育所等向けのブックリスト及び 小・中学生向けのブックリストの配付率 (市内認定こども園・保育所等、市内小・中学校)	51%	100%
年2回以上、小・中学生向けに図書館情報を発信している市内図書館の割合。	50%	100%

【基本目標2】認定こども園・保育所等及び学校での読書習慣作り

子どもは年齢や発達に応じてたくさんの絵本と出会うことで、絵本の楽しさを感じ、「もっと知りたい学びたい」という知的好奇心を高め、情緒の安定につながります。子どもが認定こども園・保育所等で多くの絵本とふれあい、保護者や先生と一緒に温かく楽しいひとときを共有できるよう支援します。

また小・中学生が一日の多くの時間を過ごす学校での読書活動は、子どもの思考力、判断力を形成する上で重要な役割を担っております。授業や調べ学習に対応した学校図書館の整備、図書館資料などの提供を継続して行います。

(1) 認定こども園・保育所等への読書活動支援

子どもは友達や先生と絵本をいっしょに楽しむことで、情緒が安定し、表現力や想像力を高めていきます。子どもたちが様々な分野の絵本と出会ったり、先生の読みきかせにより絵本の世界を楽しみ、読書活動の充実につながるよう、認定こども園・保育所等からの要望・意見も取り入れながら団体貸出を行っていきます。

強化取組

- ① 認定こども園・保育所等への団体貸出申込書に要望欄を追加し、要望・意見を取り入れ、子どもたちが興味を持っている本の把握を行う。

(2) 学校における読書活動の充実

学校図書館は読書活動だけでなく、調べ学習や資料収集の拠点として重要な場です。子どもたちが魅力的な本と出会い、疑問に思ったことをすぐ調べることができるよう、学校図書館の環境整備や各地域図書館の資料貸出などにより、充実した読書活動と調べ学習の支援を行ってまいります。また、学校の図書館整備業務の負担を減らすための施策にも取り組んでいきます。

新規・強化取組

新規

- ①市内小・中学生への読書に関するアンケートの実施。

強化取組

- ①市内小・中学校図書館の環境整備や、除籍作業の支援を行い、担当教員の業務負担軽減を図る。
- ②学校司書配置に向けた働きかけや、学校図書館と公共図書館のシステム連携の推進を行う。
- ③大仙市の偉人先人の理解を深めてもらうため、図書館ホームページにリンク集を掲載し、郷土資料収集支援を行う。

継続していく取組

- ・調べ学習や授業へのサポート(図書の貸出など)
- ・各学校へ実施可能な学習支援の周知を行う。

基本目標2の指標・数値目標

項 目	R5年度実績	R10年度目標値
団体貸出を利用している 認定こども園・保育所等の割合	82.7%	100%
「読書を全くしない」市内の小・中学生の割合 (市内小・中学生への読書に関するアンケート) (令和7年度から開始予定)		
小学生	7.1%※	0%
中学生	11.8%※	5%

※令和5年度実績値はアンケートを実施していないため、「令和5年度秋田県学習状況調査」の「1か月に何冊くらい本を読むか」という質問に「0冊」と答えた秋田県の小・中学生の平均を参考値として掲載している。

【基本目標3】図書館がつなぐ読書活動

図書館は、誰でも気軽に立ち寄り、読書や調べもの、課題の解決などあらゆる世代の市民が利用できる開かれた場所です。地域全体で市民が本にふれあうことができる読書活動の循環形成を推進し、市民生活に根ざした図書館を目指します。

(1)地域における読書活動の充実

各地域図書館が中心となり、図書館情報の発信、イベントや展示の開催、団体貸出の促進などにより、読書活動の推進を図ります。市民が身近な場所で読書に親しむことができる、誰もが安心して利用できる環境づくりを推進します。

新規・強化取組

新規

- ①大仙市 LINE 公式アカウントと図書館利用情報との連携。
- ②SNS等を用いた図書館イベントの周知、おすすめ本の紹介など。

強化取組

- ①現在貸出を行っていない団体・施設への貸出。
- ②「だいせん読書の日」の事業として、子供から大人まで参加できるイベントの企画、開催をする。

継続していく取組

- ・「図書館だより」や「FMIはなび」を活用した新刊図書やおすすめ本の紹介と充実
- ・市広報や市ホームページを活用した図書館イベントの案内
- ・テーマや季節、流行に合わせたおすすめ図書コーナーの設置
- ・地域資料や地域に関連する資料の収集・保存を行い、後生に残し伝える活動
- ・図書予約やリクエスト受付などの窓口サポート

(2) 読書バリアフリーの推進

障害のある人もない人も誰もが読書を楽しめる環境作りのため、点字資料や大活字本などの収集に努めるとともに、必要な情報にアクセスできるよう資料の配置を工夫し、図書館のバリアフリー化を進めます。

強化取組

- ①課題解決コーナー※₁やバリアフリーコーナー、大活字本※₂コーナーなどの資料の充実と、展示の工夫を行い、より多くの人の利用を促す。

(3) 子どもの図書館利用の促進

子どもたちにとって図書館が楽しく魅力あふれる場所となるよう、児童コーナーの資料や環境の整備を行ってまいります。小学生の図書館見学、中・高生のインターンシップなどの積極的な受け入れをはじめ、「子ども読書通帳」事業など読書の楽しさや達成感につながる事業を実施し、図書館利用の促進につなげます。

強化取組

- ①子どもたちに魅力ある利用しやすい図書館にするため、職員の研修等への積極的な参加を促し、専門性や企画力の向上を図る。
②子ども向け展示やホームページの充実などにより、子ども読書の日(4月23日)の積極的な啓発活動を行う。

継続していく取組

- | | |
|--------------|------------------|
| ・子ども読書通帳事業 | ・児童書コーナーの整備、充実 |
| ・小学生の図書館見学受入 | ・中・高生のインターンシップ受入 |
| ・子ども向け図書の展示 | |

※1 ある課題に対しその分野に関する資料を集めたコーナー。

子育て支援コーナーやビジネス支援コーナー、健康増進コーナーなど。

※2 視力の弱い方や、高齢で字が読みづらい方にも読みやすいように、文字の大きさや行間などを調整した本。

(4)図書館ボランティアや関係機関との連携と支援

市民の読書活動を充実していくためには、図書館ボランティアなどとの協力連携が不可欠です。団体の活動状況に合わせながら、図書館ボランティアへの活動場所の提供や図書館資料の貸出、研修機会の情報提供を行い、図書館ボランティア活動の支援に取り組めます。

継続していく取組

- ・ボランティア団体への活動場所や資料の貸出
- ・研修機会の情報提供や活動機会の創出

基本目標3の指標・数値目標

項 目	R5年度実績	R10年度目標値
年間団体貸出冊数 (放課後児童クラブ・児童館、市民交流施設、社会福祉施設、小・中学校、認定こども園・保育所等)	14,269 冊	15,000冊
利用登録者の内、LINE 連携した人の割合 ※令和7年度よりシステム実装予定	0%	50%
市内図書館の年間企画展示回数	163回	170回
市内の15歳未満 1 人あたりの年間児童書貸出冊数	7.7冊	10冊

☆第4次計画 各基本目標における振り返り表

1 家庭での本との出会いづくり						総 評
(1)子育てにかかわる人への読書活動支援 (2)家庭での読書啓発						
数値目標	令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	
・0歳から18歳以下の利用者カードの登録率を50%にする。						
・認定こども園・保育所等向けのブックリスト及び小・中学生向けのブックリストの配付率を100%にする。						
・各図書館から小・中学生向けの「図書館だより」を年2回以上発行する。						

2 認定こども園・保育所等及び 学校での読書習慣作り						(1)認定こども園・保育所等への読書活動支援 (2)学校における読書活動の充実		総 評		
数値目標						令和 7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
・市内の認定こども園・保育所等全てへ団体貸出を行う。										
・「読書を全くしない」市内の小学生の割合を0%にする。										
・「読書を全くしない」市内の中学生の割合を5%にする。										

3 図書館がつなぐ読書活動		(1)地域における読書活動の充実 (2)読書バリアフリーの推進 (3)子どもの図書館利用の促進 (4)図書館ボランティアや関係機関との連携と支援					総 評
数値目標		令和7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	
・年間団体貸出冊数を15,000冊にする。							
・利用登録者の内、LINE連携した人の割合を50%にする。							
・市内図書館の企画展示を全館で年170回開催する。							
・市内の15歳未満1人あたりの年間児童書貸出冊数を10冊にする。							

第5章

令和 6 年度

認定こども園・保育所等及び小・中学校の 図書管理状況調査結果

第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画策定にかかるアンケート

(認定こども園・保育所等あて・質問事項)

① 本の管理の方法

園内の本の管理方法について選択してください。(複数選択可)

- ア) 図書管理システム
- イ) エクセルのリスト
- ウ) 紙のリスト
- エ) 特になし
- オ) その他()

② 蔵書冊数

園にある本の冊数を記入してください。(大まかで大丈夫です。)

冊

③ 本の廃棄について

園内にある本はどんな時廃棄していますか。(複数選択可)

- ア) 本が汚れたとき
- イ) 本が古くなったとき
- ウ) その他()

④ 本の整備の方法について

本を本棚に出すまでにどんな作業がありますか。

- ア) 園名が入ったシールを貼るまたはスタンプを押す
- イ) 番号を付ける
- ウ) 年齢ごとのラベルを貼る
- エ) その他()

⑤ 本の整備について

業務の負担感についてお伺いします。

- ア) 大変負担に感じる
- イ) 負担に感じる
- ウ)それほど負担に感じない
- エ)ほとんど負担に感じない

⑥ 本の貸出について

本の園外への貸出について当てはまるものを1つ選択してください。

- ア)開園日は基本的に実施している
- イ)長期休暇前は実施している
- ウ)実施していない

⑦ ⑥でウ)実施していないを選んだ方にお伺いします。実施しない理由について当てはまるものを選択してください。(複数選択可)

- ア)本の貸出の管理が大変であるため
- イ)本が紛失、または紛失する可能性があるため
- ウ)その他()

⑧ 図書購入等の予算について

園での読書活動の予算について、当てはまるものを1つ選択してください。

- ア)十分である
- イ)足りない部分があるが、活動できている
- ウ)不足しており、活動に支障がある
- エ)その他()

⑨ 図書関係の支援で行ってほしいことについて

園での読書活動の推進のために、園への支援で行ってほしいこと、強化してほしいことについて選択してください。(複数選択可)

- ア)特になし
- イ)本の管理のシステム化
- ウ)本を選ぶサポート
- エ)絵本の読み聞かせ
- オ)図書購入予算の増額
- カ)市立図書館との連携
- キ)その他()

自由記載欄

園での読書活動でのご意見・ご要望があればご記入ください。

認定こども園・保育所等へのアンケート結果

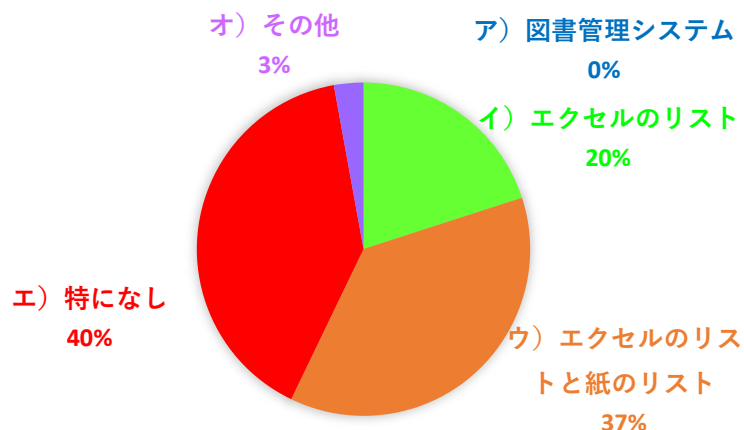
① 図書の管理の方法（複数回答可）

選択項目	件数
ア) 図書管理システム	0
イ) エクセルのリスト	7
ウ) エクセルのリストと紙のリスト	13
エ) 特になし	14
オ) その他	1

(件)

その他の意見

- ・ワードのリスト



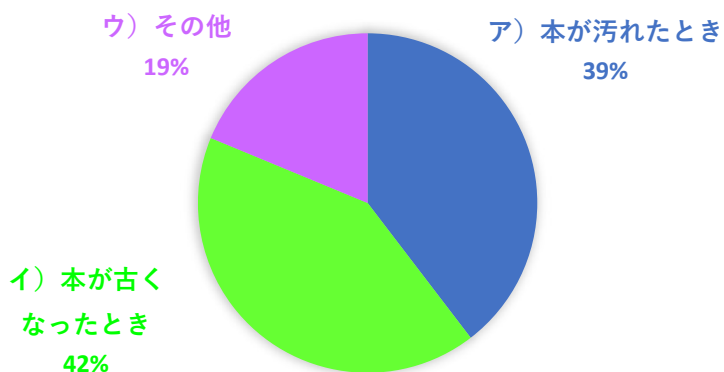
③ 本の廃棄についてどのようなときに実施しているか（複数回答可）

選択項目	件数
ア) 本が汚れたとき	19
イ) 本が古くなったとき	20
ウ) その他	9

(件)

その他の意見

- ・本が修復不可能なとき
- ・吐しゃ物がかったとき



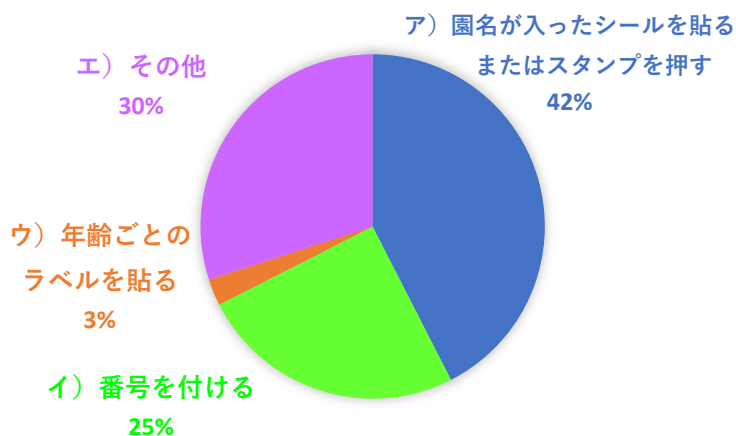
④ 本の整備の方法について（複数回答可）

選択項目	件数
ア) 園名が入ったシールを貼る またはスタンプを押す	17
イ) 番号を付ける	10
ウ) 年齢ごとのラベルを貼る	1
エ) その他	12

(件)

その他の意見

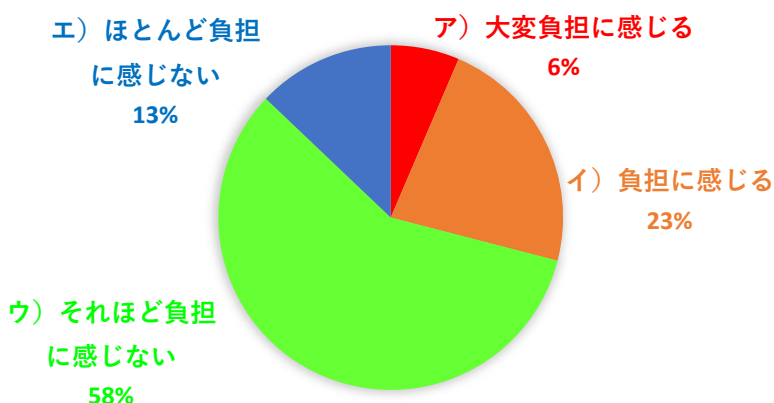
- ・ジャンル・本の種類がわかるようにシールなどの印をつける
- ・クラス名をつける
- ・カバーをかける



⑤ 図書室等の整備の負担感について

選択項目	件数
ア) 大変負担に感じる	2
イ) 負担に感じる	7
ウ) それほど負担に感じない	18
エ) ほとんど負担に感じない	4

(件)



認定こども園・保育所等へのアンケート結果

⑥ 図書の園外への貸出について

選択項目	件数
ア) 開園日は基本的に実施している	16
イ) 長期休暇前は実施している	0
ウ) 実施していない	15

(件)

ウ) 実施していない
48%

ア) 開園日は基本的に
に実施している
52%

イ) 長期休暇前は
実施している
0%

⑦ 貸出を実施していない理由について（複数回答可）

選択項目	件数
ア) 図書の貸出の管理が大変であるため	8
イ) 図書が紛失する可能性があるため	3
ウ) その他	4

(件)

ウ) その他
27%

イ) 図書が紛失する
可能性があるため
20%

ア) 図書の貸出の
管理が大変である
ため
53%

その他の意見

- ・保護者からの要望がないため
- ・以前は実施していたが、年々借りる人が減ったため
- ・破かれたことがあったため
- ・小規模なため

⑧ 図書購入等の予算について

選択項目	件数
ア) 十分である	13
イ) 足りない部分があるが活動できている	14
ウ) 不足しており、活動に支障がある	2
エ) その他	0
オ) 無回答	2

(件)

ウ) 不足しており、活動に支障がある
7%

イ) 足りない部分があるが活動できている
45%

エ) その他
0%

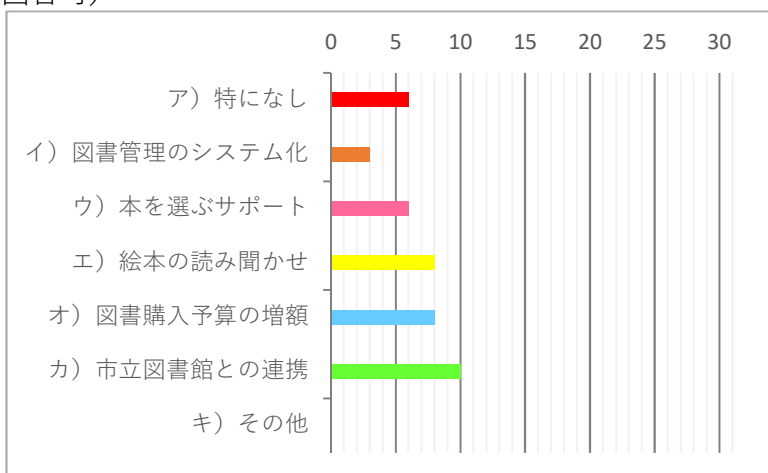
ア) 十分である
42%

オ) 無回答
6%

⑨ 図書室支援で行ってほしいことについて（複数回答可）

選択項目	件数
ア) 特になし	6
イ) 図書管理のシステム化	3
ウ) 本を選ぶサポート	6
エ) 絵本の読み聞かせ	8
オ) 図書購入予算の増額	8
カ) 市立図書館との連携	10
キ) その他	0

(件)



【補足】

- ・自由記載欄等で、現在市立図書館で行っている団体貸出の継続を望む声が多く寄せられた。
- ・図書の購入費の不足を感じている施設が小中学校よりも多い。
- ・図書整備の負担感の小・中学校よりも少ない。
- ・大曲保育会管轄の園では全ての園で登園日の貸出が行われていた。

第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画策定にかかるアンケート

(小・中学校あて・質問事項)

① 図書の管理の方法

学校内の図書の管理方法について選択してください。(複数選択可)

ア) 図書管理システム

イ) エクセルのリスト

ウ) 紙のリスト

エ) 特になし

オ) その他()

② 蔵書冊数

図書室と図書室以外にある本の冊数を記入してください。(大まかで大丈夫です。)

図書室にある本の数 冊

図書室以外にある本の数 冊

③ 除籍について

学校内にある本の除籍の頻度について当てはまるものを選択してください。

ア) 毎年実施している

イ) 2～3年に1回実施している

ウ) ほとんど実施していない

④ ③でウ)を選んだ方にお伺いします。ほとんど実施できていない理由について当てはまるものを選択してください。(複数選択可)

ア) 本の冊数がすくないため

イ) 時間が取れないため

ウ) どの本を捨てればいいのかわからないため

エ) その他()

⑤ 図書室等の整備について

業務の負担感についてお伺いします。

ア) 大変負担に感じる

イ) 負担に感じる

ウ) それほど負担に感じない

エ) ほとんど負担に感じない

⑥ 図書の貸出について

図書の学校外への貸出について当てはまるものを1つ選択してください。

- ア) 登校日は基本的に実施している
- イ) 長期休暇前は実施している
- ウ) 実施していない

⑦ ⑥でウ) 実施していないを選んだ方にお伺いします。実施しない理由について当てはまるものを選択してください。(複数選択可)

- ア) 図書の貸出の管理が大変であるため
- イ) 図書が紛失、または紛失する可能性があるため
- ウ) その他()

⑧ 図書購入等の予算について

学校での読書活動の予算について、当てはまるものを1つ選択してください。

- ア) 十分である
- イ) 足りない部分があるが、活動できている
- ウ) 不足しており、活動に支障がある
- エ) その他()

⑨ 図書室支援で行ってほしいことについて

学校での読書活動の推進のために、学校の図書室への支援で行ってほしいこと、強化してほしいことについて選択してください。(複数選択可)

- ア) 特になし
- イ) 図書管理のシステム化
- ウ) 学校の司書の配置
- エ) 除籍のサポート
- オ) 図書購入予算の増額
- カ) 市立図書館との連携
- キ) その他()

自由記載欄

学校での読書活動でのご意見・ご要望があればご記入ください。

小・中学校へのアンケート結果

① 図書の管理の方法（複数回答可）

選択項目	小	中
ア) 図書管理システム	4	4
イ) エクセルのリスト	10	3
ウ) エクセルのリストと紙のリスト	6	4
エ) 特になし	0	0
オ) その他	0	0

(件)

※システム・エクセル・紙のリストの3つを利用している学校が1校あり。

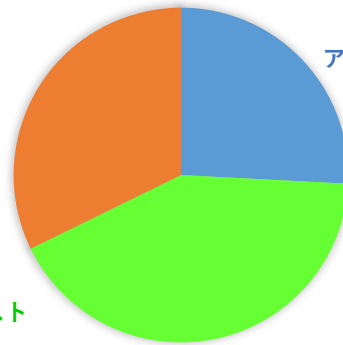
ウ) エクセルのリストと紙のリスト
32%

イ) エクセルのリスト
42%

ア) 図書管理システム
26%

エ) 特になし
0%

オ) その他
0%



③ 除籍について

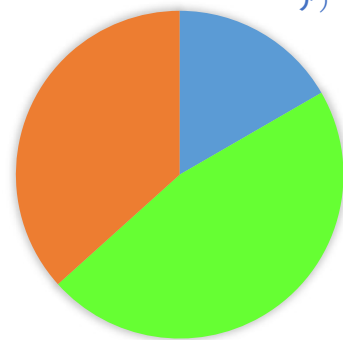
選択項目	小	中
ア) 毎年実施している	4	1
イ) 2～3年に1回実施している	11	3
ウ) ほとんど実施していない	5	6

(件)

ウ) ほとんど実施していない
37%

イ) 2～3年に1回実施している
46%

ア) 毎年実施している
17%



④ ほとんど除籍が実施できていない理由について（複数回答可）

選択項目	小	中
ア) 本の冊数が少ない	1	1
イ) 時間が取れないため	3	2
ウ) どの本を捨てればいいのかわからないため	1	4
エ) その他	1	2

(件)

その他の意見

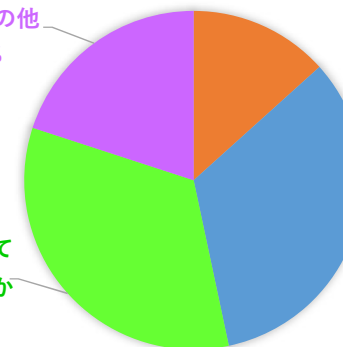
- ・別室へ寄せておく作業はしているが、正式な除籍のやり方がわからずできていない。
- ・本を捨てていいのか判断できない
- ・2～3年より長いスパンで行っている。

エ) その他
20%

ウ) どの本を捨てればいいのかわからないため
33%

ア) 本の冊数が少ないため
13%

イ) 時間が取れないため
34%



⑤ 図書室等の整備の負担感について

選択項目	小	中
ア) 大変負担に感じる	8	1
イ) 負担に感じる	6	7
ウ) それほど負担に感じない	5	1
エ) ほとんど負担に感じない	1	1

(件)

エ) ほとんど負担に感じない
7%

ウ) それほど負担に感じない
20%

ア) 大変負担に感じる
30%

イ) 負担に感じる
43%



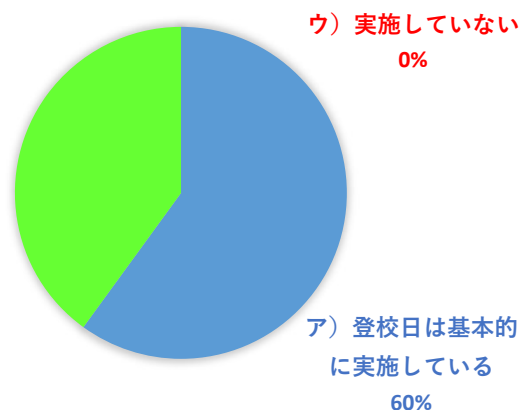
小・中学校へのアンケート結果

⑥ 図書の学校外への貸出について

選択項目	小	中
ア) 登校日は基本的に実施している	8	10
イ) 長期休暇前は実施している	12	0
ウ) 実施していない	0	0

(件)

イ) 長期休暇前は
実施している
40%



⑦ 貸出を実施していない理由について

※すべての学校で貸出を実施しているため省略

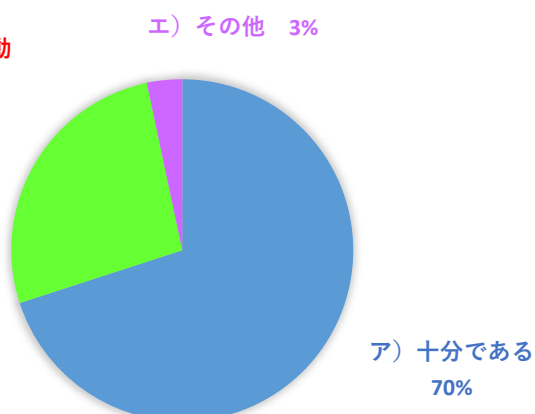
⑧ 図書購入等の予算について

選択項目	小	中
ア) 十分である	12	9
イ) 足りない部分があるが活動できている	7	1
ウ) 不足しており活動に支障がある	0	0
エ) その他	1	0

(件)

ウ) 不足しており、活動
に支障がある
0%

イ) 足りない部分があるが、活動できている
27%



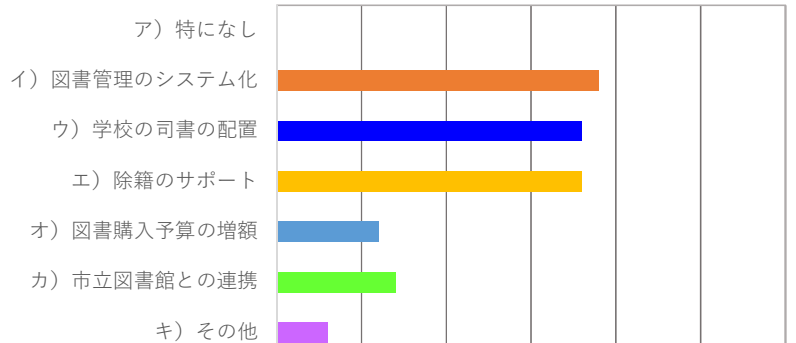
その他の意見

・教科書が改訂された年は教科書に掲載されている本を購入するため、予算が不足だと感じた。

⑨ 図書室支援で行ってほしいことについて（複数回答可）

選択項目	小	中
ア) 特になし	0	0
イ) 図書管理のシステム化	14	5
ウ) 学校の司書の配置	10	8
エ) 除籍のサポート	13	5
オ) 図書購入予算の増額	5	1
カ) 市立図書館との連携	7	0
キ) その他	2	1

(件)



その他の意見

・読み聞かせ
・図書受入作業

【補足】

・図書担当に司書教諭の資格がある学校は、30校中7校だった。
・図書担当が司書教諭の資格がある場合、「⑤図書室等の整備の負担感について」で「大変負担に感じる」または「負担に感じる」の回答となった。
・「⑤図書室等の整備の負担感について」で「それほど負担に感じない」、「ほとんど負担に感じない」と回答のあった学校の資料管理の方法はシステム管理は1件のみだった。
・中学校では全ての学校で登校日には基本的に貸出を実施していた。小学校では、約半数の実施だった。

○第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画策定経過

月 日	内 容
令和6年10月23日	第 1 回策定委員会 ・第3次推進計画における大仙市の取組について(検証) ・「第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」の策定について
令和6年11月26日	第 2 回策定委員会 ・「第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」(案1案)について
令和6年12月25日	第 3 回策定委員会 ・「第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」(第2案)について

第4次 大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画策定委員名簿

No	所 属	所属課所室等	職 名	氏 名
1	図書館協議会委員		会 長	沢屋 隆世
2	教育委員会事務局		事務局長	藤原 秀一
3	教育委員会事務局	教育指導課	次長兼課長	佐々木 泰宏
4	企画部	総合政策課	課 長	熊木 雄一
5	こども未来部	こども家庭センター	所 長	富樫 一哉
6	こども未来部	子育て支援課	課 長	堀川 あずさ
7	教育委員会事務局	生涯学習課	課 長	八嶋 洋晃

事 務 局

No	所 属	所属課所室	職 名	氏 名
1	教育委員会事務局	総合図書館	館 長	伊藤 ひろみ
2	教育委員会事務局	総合図書館	主 幹	高橋 久子
3	教育委員会事務局	総合図書館	主 査	後藤 千夏
4	教育委員会事務局	総合図書館	主 査	岡田 綾
5	教育委員会事務局	総合図書館	主 事	佐々木 瞭
6	教育委員会事務局	総合図書館	技能員	小山田 光

大 仙 市 立 図 書 館 一 覧

名 称	住 所	電 話 番 号
大仙市立大曲図書館	大仙市大曲上栄町2番16号	0187-62-1012
大仙市立神岡図書館	大仙市神宮寺字下川原前開102番地	0187-72-2501
大仙市立西仙北図書館	大仙市刈和野字愛宕下24番地1	0187-75-0099
大仙市立中仙図書館	大仙市北長野字袴田95番地	0187-56-7200
大仙市立協和図書館	大仙市協和船岡字大袋1番地7	018-892-3830
大仙市立南外図書館	大仙市南外字悪戸野127番地6	0187-74-2130
大仙市立仙北図書館	大仙市堀見内字下田茂木139番地	0187-69-3334
大仙市立太田図書館	大仙市太田町太田字新田下野50番地3	0187-86-9460

第4次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画

令和7年4月発行

【編集・発行】

大仙市教育委員会事務局 総合図書館

〒014-8601 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号

TEL 0187-62-1012 FAX 0187-62-1023

URL <https://www.city.daisen.lg.jp/archive/contents-194>